

競技上の注意事項

競技委員会

平成 29 年度評議員会

1. 大会は、特別に定める小学生バレーボール・フリーポジション制、及び21点ラリーポイント制を用い、他は、平成 29 年度（財）日本バレーボール協会の6人制競技規則に基づいて行う。なお、コートの大さは8m×16m、サービスゾーンの幅は、8m、ネットの高さは、男女とも2mとする。
2. 第1試合開始時刻は、大会日程に記載されている時刻で行うが、コートの設営や移動時間によって変更することもある。各会場の競技委員の指示に従うこと。
3. 試合間の練習では、ネットを使っての練習はできない。また、フロアでの練習は、登録されたベンチ役員と選手のみとする。
4. 試合は、すべて3セットマッチ追い込み形式で行うが、連続する場合は、最大15分の休憩をとる。
5. チーム構成は、各大会に定められた人数とする。ベンチには、有効に登録されたものの着席を認める。
6. 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸につけること。なお、ベンチスタッフのうち一人以上の者が、指導者資格を有していること（証明書等を首から掲げていること。）
7. ベンチには、競技に必要な飲料水（ストロー付きまたはスクイズボトル）、救急用具以外の品物は持ち込まないこと。
8. 横断幕やのぼりは、会場では試合該当チームのみが掲出し、試合終了後、ただちに撤去すること。開会式時は各チームとも横断幕やのぼりの掲出は禁止する。応援者の邪魔にならないよう、試合中ののぼりは応援席の最上階に掲出すること。横断幕は手すりの上部には掲出せず、下部に掲出すること。
9. エントリーの変更、並びにプログラム記載事項の誤りについては、大会1日目の代表者会議で申し出て、大会本部に提出し、承認を得ること。
10. スタッフの変更については、大会初日に申し出のあったものを受け付ける。それ以降の変更は認められない。
11. 代表者会議には、必ず出席をすること。